招　請

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

令和元年10月11日

北海道警察情報通信部

旭川方面情報通信部長　髙橋　豊人

◎調達機関番号　009　◎所在地番号　01

○第１号

1　調達内容

⑴　品目分類番号　15、29

⑵　導入計画物品及び数量

北海道警察旭川方面本部用指令通信装置（情報処理系）１式

⑶　調達方法　借入

⑷　導入予定時期　令和２年度

⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件

詳細は導入説明書による。

2　資料及びコメントの提供方法

⑴　資料等の提供期限　令和元年11月11日17時30分（郵送の場合は必着のこと。）

⑵　提出先　〒078―8511 北海道旭川市１条通25丁目487番地の６　北海道警察情報通信部旭川方面情報通信部通信施設課施設第１係　電話0166―35―0110

3　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。

⑴　交付期間　令和元年10月11日から令和元年11月11日まで。

⑵　交付場所　上記２⑵に同じ。

4　Summary

⑴　Classification of the products to be procured : 15, 29

⑵　Nature and quantity of the products to be purchased : Command Communications Equipment for Asahikawa Area Police Headquarters (Information processing system), 1 Set

⑶　Type of the procurement : lease

⑷　Basic requirements of the procurement : as enclosure

⑸　Time limit for the submission of the requested material : 17 : 30　11 November, 2019

⑹　Contact point for the notice : Communications Facilities Section, Asahikawa Area Info-Communications Branch, Hokkaido Prefectual Police Info-Communications Department, 25―487―6　1Jodori Asahikawa-shi 078―8511 Japan. TEL 0166―35―0110

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

令和元年10月11日

国立大学法人東京大学総長　五神　　真

◎調達機関番号　415　◎所在地番号　13

○第11号

1　調達内容

⑴　品目分類番号　14

⑵　導入計画物品及び数量　データ活用社会創成プラットフォーム基盤システム　一式

⑶　調達方法　購入等

⑷　導入目的　データ活用型社会創成プラットフォーム計画は、データ中心的な研究分野や、データ解析・データ科学的手法への期待が高い分野のための情報基盤を提供するとともに、研究分野間や産学間の連携を促進する全国の大学や研究所が参加する運営、研究コミュニティを作ることを目指しており、本システムは、これを支える情報基盤の一部を整備することを目的としたものである。本システムは、ＳＩＮＥＴと100Gbps以上の帯域で接続され、リアルタイムデータ入出力が可能であり、東京大学柏ＩＩキャンパス内の「ＡＩ橋渡しクラウド（ＡＢＣＩ）」や東大の次期スパコン「『計算・データ・学習』融合スーパーコンピュータシステム」とも連携する。用途ごとに他と論理的に分離された広域ネットワーク、仮想計算資源、ストレージなどから構成される仮想プラットフォームを短期間で構築し、様々なデータ活用用途に、高性能なインフラを用いた速やかなPoC（Proof-of-Concept）を実現する環境を提供する。

⑸　導入予定時期　令和２年度１月以降

⑹　調達に必要とされる基本的な要求要件

Ａ　データ活用社会創成プラットフォーム基盤システム（以下、「基盤システム」と呼ぶ）は以下のハードウェア要件を満たしていること。

Ｂ　計算ノードに関する要件

ａ　計算ノードは、汎用ＣＰＵ部のみからなる汎用ノード、汎用ＣＰＵ部に加えて演算加速装置部を備える演算加速ノードとデータ解析ノードからなること。

ｂ　各ノードの汎用ＣＰＵ部は複数の均一なＣＰＵコアからなり、全てのＣＰＵコアはハードウェア共有メモリ機構により相互に接続されること。ＣＰＵコアは64ビット拡張されたＩＡ32アーキテクチャに基づくものであること。

ｃ　各ノードの演算加速装置部は、複数の演算装置からなり、内部にそれらの演算装置間で共有可能な独自の共有メモリを持ち、汎用ＣＰＵと適宜データ交換を行うことにより超高速演算が可能であること。

ｄ　汎用ノードは、総理論演算性能（倍精度浮動小数点）は２PFLOPS以上で、総メモリバンド幅は150TByte／sec以上であること。汎用ノード各ノードは、汎用ＣＰＵ２個を搭載し、100Gbps以上のリンクで内部ネットワークに、100Gbps以上のリンクでストレージネットワークに接続されること。

ｅ　演算加速ノードは、倍精度浮動小数点の総理論演算性能が4.5PFLOPS以上、総メモリバンド幅は600TByte／sec以上であること。演算加速ノード各ノードは、汎用ＣＰＵ１個または２個、演算加速装置を最大４基まで搭載し、演算加速装置当たり50Gbps以上のリンクで内部ネットワークに、汎用ＣＰＵ当たり50Gbps以上のリンクでストレージネットワークに接続されること。

ｆ　データ解析ノードは、単精度浮動小数点の総理論演算性能が16PFLOPS以上、半精度（16bit）浮動小数点の総理論演算性能が120PFLOPS以上であること。データ解析ノードは、汎用ＣＰＵ１個または２個、演算加速装置を最大８基まで搭載し、演算加速装置当たり25Gbps以上のリンクで内部ネットワークに、汎用ＣＰＵ当たり50Gbps以上のリンクでストレージネットワークに接続されること。

Ｃ　ストレージに関する要件

ａ　ストレージは、高速内部ストレージ、大容量内部ストレージ、共有ストレージ、コールドストレージからなり、高い信頼性・耐故障性を有すること。

ｂ　高速内部ストレージは、NVMe SSDからなる総計８PByte以上のストレージを有する高速内部ストレージノードから構成され、計算ノード群からは２TByte／sec以上の転送速度でNVMe over Fabricsによりアクセスできること。また、管理ノードからのみ設定できる隔離手段により個々の計算ノードからアクセス可能なストレージノードやドライブ等を制限できること。

ｃ　大容量内部ストレージは、総計15PByte以上のストレージを有する大容量内部ストレージノードから構成され、計算ノード群からは100GByte／sec以上の転送速度でアクセスが可能であること。各計算ノードからiSCSI等によりアクセスできること。また、管理ノードからのみ設定できる隔離機能により個々の計算ノードからアクセス可能なストレージノードやドライブ等を制限できること。

ｄ　共有ストレージは、30PByte以上の容量を持つAmazon　Ｓ３互換のオブジェクトストレージであり、100GByte／sec以上の転送速度で対外接続ルータに接続されること。

ｅ　コールドストレージは、磁気テープや光ディスク等により構成されること。15PByte以上のストレージメディアを有するとともに、装置を増設することなしに50PByte以上のストレージメディアを追加してオンラインアクセスできる状態にできること。